オーブンで調理をする（つづき）

追加焼きをする

自動調理終了後、ヒーターの
クリーニング中 （➔P.28）にセットする

1 自動 を押し、
ランプを点灯させる

2 時間 ◀|▶ を押し、
時間を設定する

3 切/スタート を押し、**通電する**

メロディーが鳴ったら終了です。

調理物を取り出します

4 続けて使わないときは
電源 切/入 を押し、**電源を切る**
（ランプが消灯します）

追加焼き時間設定

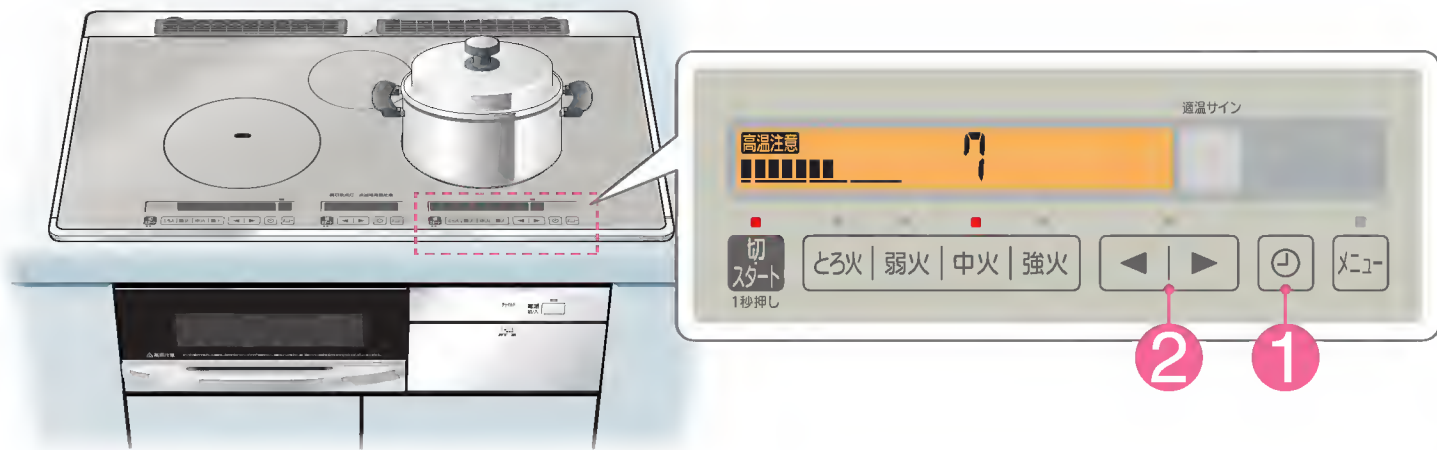
●設定時間は3分から始まります。29分まで設定できます。

●調理が終了すると約5分間、自動的にヒーターのクリーニング（CL 表示）を行い、自動 のランプが点滅します。
焼きが足りないときはもう一度追加焼きを行ってください。
●ヒーターのクリーニングを途中で終了したい場合は、切/スタート を押してください。

●庫内の温度が約80℃以下になるまで「**高温注意**」表示をします。

便利に使う

左・右・中央ヒーターでタイマーを使う

お知らせ　右ヒーターで説明しています。

電源を入れ、火力または保温・煮込みを選び、切/スタート を押したあとの通電中（調理中）にセットする

1 ⏲ を押す。

2 ◀|▶ を押し、**時間を設定する**

●設定できる最大時間
火力「1」～「 5」▶9時間55分
火力「6」～「12」▶1時間
保温 ▶1時間
煮込み ▶2時間

1分～1時間までは1分きざみ、1～5時間までは10分きざみ、5～9時間55分までは30分きざみで設定できます。

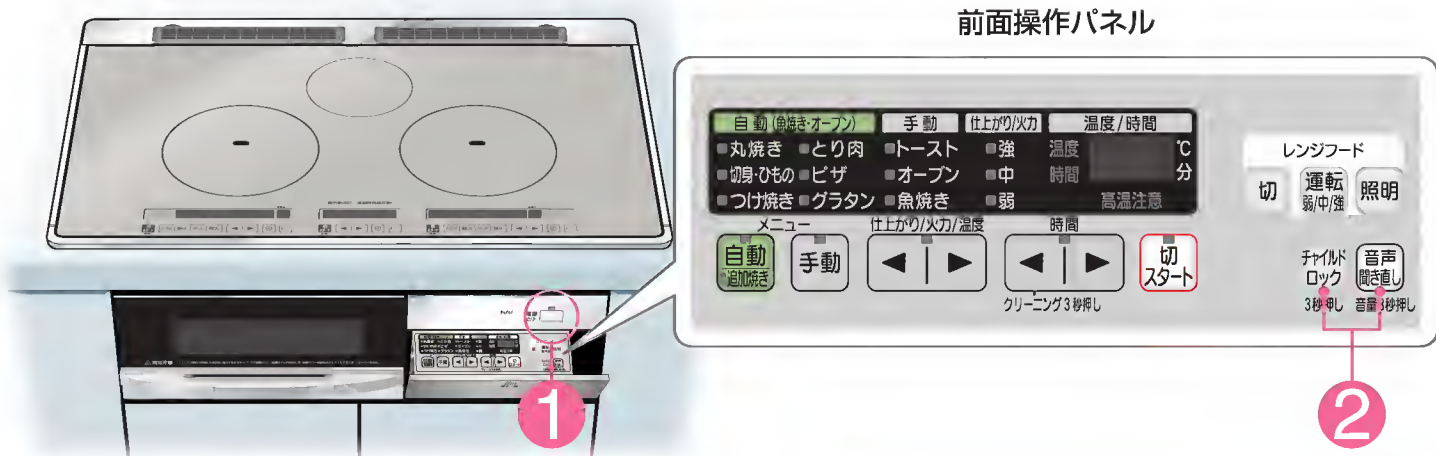
約3秒間待つ。メロディーが鳴り、**タイマーがスタートします**
メロディーが鳴ったらタイマー終了です。自動的に通電を停止します。

●途中でタイマーを中止するときは、⏲ を押してください。
●設定した時間を変更したい場合は、タイマーを中止し、再度設定してください。

便利に使う（つづき）

操作をロックする

お知らせ
●安全のために、操作できないようロックできます。
●全てのヒーターが切れている状態で受け付けます。
●電源を切っても記憶しています。

前面操作パネル

操作をロックする

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源を入れる**（ランプが点灯します）

2 チャイルド ロック を3秒間押し、**ランプを点灯させる**

ロックを解除する

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源を入れる**（ランプが点灯します）

2 チャイルド ロック を3秒間押し、**ランプを消灯させる**

消灯

音声の音量設定・聞き直し

音量を設定する

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源を入れる**（ランプが点灯します）

2 音声 聞き直し **を3秒間押す**

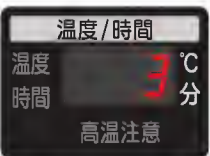
音声 聞き直し を押し、**希望の音量を選ぶ**

希望の音量で3秒経過するとセット完了

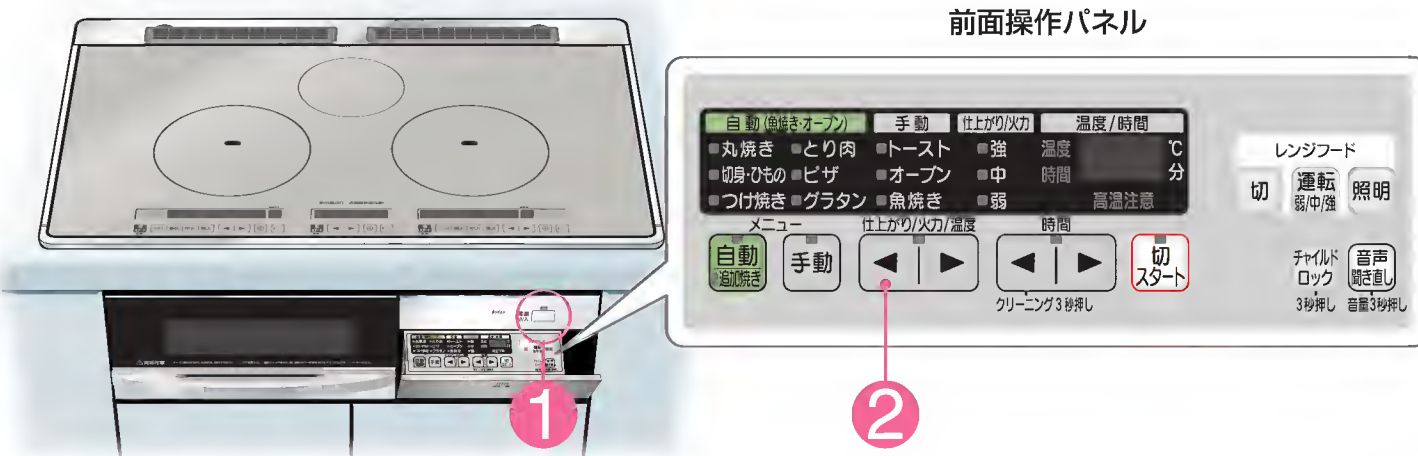
音声を聞き直す

音声を聞き直したいときは

音声 聞き直し **を押す** 直前の音声の内容が流れます。

音量設定時の表示

3 音量「大」
2 音量「中」
1 音量「小」
0 音量「切」

レンジフードファン連動システムを使う（機能付のみ）

お知らせ
●レンジフードファン連動システムは各ヒーター、またはオーブンの通電・停止に連動して、レンジフード（連動システム対応機種のみ）が運転・停止するシステムです。
●詳しくはレンジフードの取扱説明書をご覧ください。
●レンジフードファン連動システム対応のレンジフードについては、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」（→P.63）にお問い合わせください。

前面操作パネル

操作と連動する内容

クッキングヒーターの操作	レンジフードの動作
各ヒーター、またはオーブンの通電を開始したとき	運転を開始します。
各ヒーター、またはオーブンの通電を停止したとき	約3分後に自動停止します。

IH クッキングヒーターの前面操作パネルでレンジフードを操作する

運転を切り替えるときは 運転 弱/中/強 **を押す**

押すごとにレンジフードの風量が切り替わります。

レンジフードが停止中に 運転 弱/中/強 **を押すと**

「弱」で運転を開始し、押すごとに風量が「弱」→「中」→「強」→「弱」と切り替わります。

照明を点灯（消灯）するときは 照明 **を押す**

運転を停止するときは 切 **を押す**

お願い

クッキングヒーターからの信号がさえぎられるとレンジフードが動作しない場合があります。
●送信部が汚れている。
●送信部が鍋やフライパンのとってなどでおおわれている。
●他のリモコンを操作している。

メロディーをブザーに切り替える

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源を入れる**（ランプが点灯します）

2 前面操作パネルの 仕上がり/火力/温度 ◀ を3秒間押し、「ピピッ」と鳴ったら **切り替え完了**

●もとにもどすときも、同じ操作をします。

お手入れ

⚠注意 ●お手入れは、 必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。

ご注意
●ご使用のたびにお手入れしてください。
●ベンジン、シンナー、粉末タイプのみがき粉は使用しないでください。
●吸・排気口に水が入らないよう、ご注意ください。

トッププレート・プレートワク(ステンレス製)・光センサー

●軽い汚れ

絞ったふきんでふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

●油汚れ

台所用洗剤(中性)を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

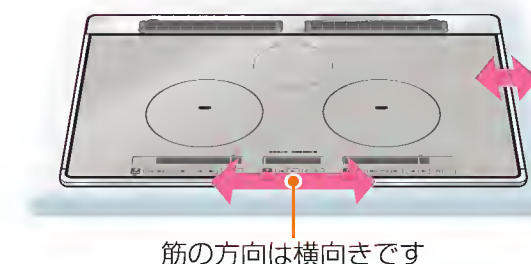
ご注意 酸性・アルカリ性の強い洗剤(漂白剤、住宅用合成洗剤など)は使わないでください。(トッププレート・プレートワクの変色の原因となります。)

●落ちにくい汚れ

クリームタイプのみがき粉を丸めたラップにつけてこすりとる。

※プレートワクはステンレスの筋にそって、こすってください。

筋の方向は横向きです

ご注意
●ドライバーやフォークなど先の鋭いものや粉末タイプのみがき粉は使わないでください。
●金属のたわし・スポンジのナイロン面、アルミホイルなどでこすらないでください。(トッププレート・プレートワクが傷つく原因となります。)

●それでも落ちないときは

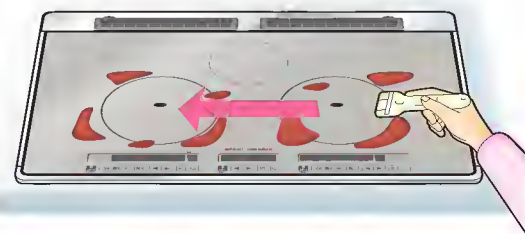
市販のセラミック用スクレーパー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふき取る。

別売品 2008年8月現在

トッププレート専用クリーナー

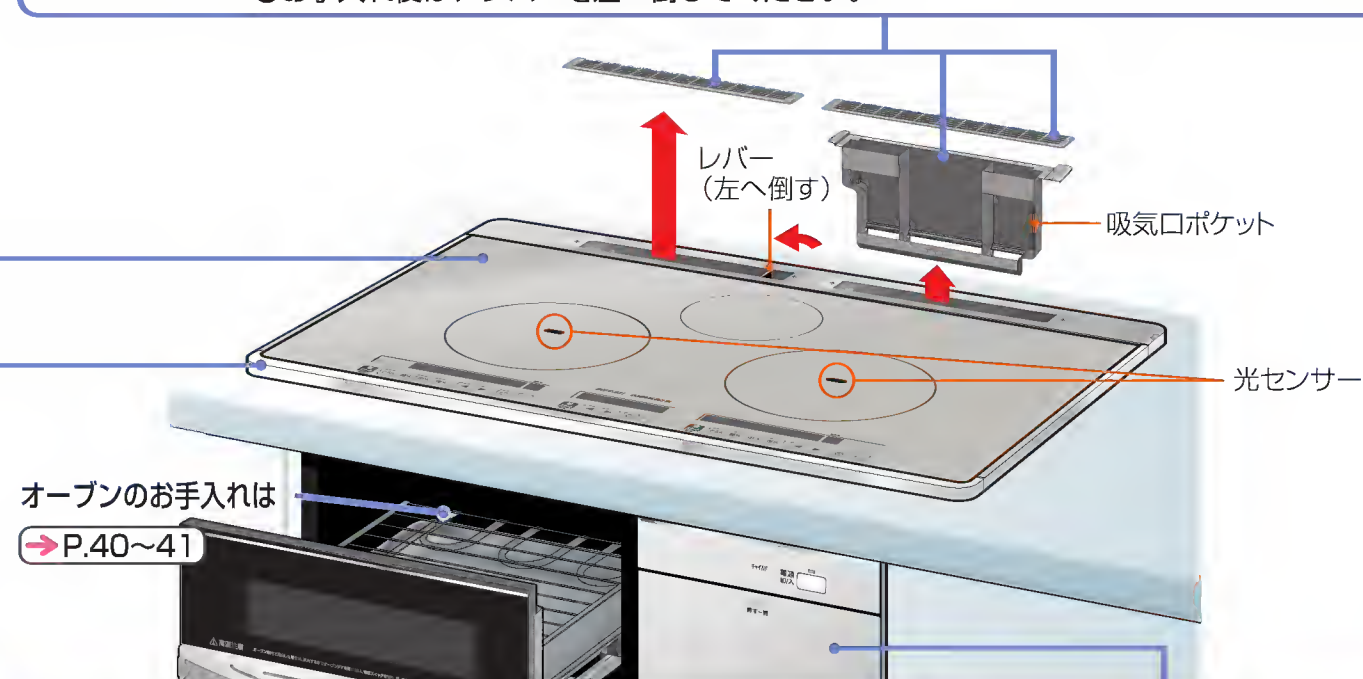
●トッププレートの汚れをおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを抑えます。

品　名：ガラスクリーナー
型　式：HT−K1
希望小売価格：1,470円
(税抜1,400円)

※お買い上げの販売店または「ご相談窓口」(→P.63)にご相談ください。
希望小売価格は価格改定に伴い変更する場合があります。

お知らせ
●しょうゆなどの調味料を放置すると、汚れあとが残ることがあります。
●鍋底の汚れがトッププレートにつく場合があります。鍋底の汚れも取り除いてください。
●光センサーが汚れていると、センサーが正しく働かない場合があります。

吸・排気カバー、吸気口ポケット

薄めた台所用洗剤(中性)とスポンジで洗う。
※たわしやみがき粉は使わないでください。
吸・排気カバーの下の油汚れもお手入れしてください。

ご注意
●吸・排気カバーは、食器洗い乾燥機に入れたりアルカリ性の洗剤を使ったりしないでください。
●汚れて目詰まりしたまま使うと、安全装置が作動して通電を停止したり、オーブン使用中にオーブンドアから煙がもれたりする場合があります。
●お手入れ後は、水気をよくふき取り、本体に必ずセットしてください。
●吸・排気カバーは強くこすらないでください。表面を傷つけたり変形する場合があります。
●お手入れ後は、レバーを左へ倒してください。

オーブンのお手入れは →P.40〜41

天ぷら鍋(付属品)

①薄めた台所用洗剤(中性)とお湯で洗う。
●たわしやみがき粉は使用しないでください。

②鍋底や外側の異物や汚れをとる。
●汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。またトッププレートが汚れます。

③洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。
●洗ったままにしておくとさびます。
※天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
●鍋底が反ったり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。→P.5

前面操作パネル

やわらかい布でふき取る。
汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意
●水にぬらさないでください。故障の原因となります。
●ベンジン・シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤は使わない。
●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。